

全国健康保険協会千葉支部 第76回評議会  
(平成27年11月19日開催)

千葉支部事業運営における数値指標等

# 協会けんぽ千葉支部の基礎データ

平成27年5月末

		当月データ	前月データ	前月比	前年同月データ	前年同月比
①適用事業所数	千葉	49,028 事業所	48,547 事業所	+1.0%	44,883 事業所	+9.2%
	全国	1,771,930 事業所	1,763,165 事業所	+0.5%	1,695,910 事業所	+4.5%
②加入者数 (③被保険者数+④被扶養者数)	千葉	798,974 人	798,714 人	+0.0%	777,313 人	+2.8%
	全国	36,618,918 人	36,578,715 人	+0.1%	35,853,328 人	+2.1%
③被保険者数	千葉	469,179 人	468,185 人	+0.2%	454,349 人	+3.3%
	全国	21,264,162 人	21,167,869 人	+0.5%	20,634,023 人	+3.1%
④被扶養者数	千葉	329,795 人	330,529 人	-0.2%	322,964 人	+2.1%
	全国	15,354,756 人	15,410,846 人	-0.4%	15,219,305 人	+0.9%
⑤任意継続被保険者数 (再掲 ※③被保険者数の一部)	千葉	6,371 人	6,457 人	-1.3%	6,775 人	-6.0%
	全国	288,747 人	296,292 人	-2.5%	307,305 人	-6.0%
⑥平均標準報酬月額	千葉	293,450 円	298,787 円	-1.8%	288,655 円	+1.7%
	全国	277,854 円	278,332 円	-0.2%	275,199 円	+1.0%

# 千葉支部事業運営における数値指標等

担当	項番	協会けんぽ事業指標	26年度		27年度			これまでの具体的取組み	評価・今後の取組み等
			実績	順位	上期実績	順位	年度末目標		
企画総務G	1	健康保険委員委嘱者数	1,137 人	41位	1,161 人	40位	1,300 人	・被保険者150名以上の事業所(172社)に勸奨文書を送付。(9月) ・保健指導のため事業所を訪問した際、保健師による勸奨を実施。	昨年度大幅に委嘱者数を増やした影響もあり苦戦している。引き続き、広報紙、イベントなどを活用して委嘱拡大を図るとともに、健康経営の普及促進に係る事業所訪問の際にも、勸奨を行っていく。
	2	メールマガジン登録件数	1,698 人	14位	1,759 人 ※5月末実績	-	2,000 人	・社労士会発行の会報誌に勸奨チラシを同封(4月) ・健保委員応募申込書に承諾欄設定。	インターネット遮断の影響で現在配信休止中。登録件数については、5月までは順調に伸びるも、6月以降は把握できていない。今後、インターネットの復旧状況を見ながら、引き続き登録者拡大を図っていく。
	3	ジェネリック医薬品使用率 (数量ベース)	58.8% (全国 58.9%)	26位	60.7% (全国60.4%) ※27年3月度実績	24位	全国平均 +1%以上	・負担額軽減通知の発送。(9月、41,780件) ・ジェネリック医薬品への切り替えを呼びかけるチラシを作成	・健康経営の普及促進に係る事業所訪問の際に、ジェネリック使用促進についても説明を行う ・負担額軽減通知の発送(2月) ・千葉県薬剤師会や製薬会社と連携し、効果的な広報を行う
保健G	4	生活習慣病予防健診受診者数	140,598 人	-	58,861 人	-	139,728 人	・新規適用事業所、任意継続加入者、法第3条第2項の加入者(日雇特例)への健診案内送付 ・健診機関への受診勧奨業務委託 ・新規健診実施機関の募集 ・検診車の有効活用(受診率の低い地域、健診実施機関のない地域等)	・システム刷新があったことから、健診結果請求書類の提出が遅れ、受診者数に反映されていないところもあるが、健診申込者数をみる限りでは、おおむね計画通りの受診者数であると推察する。 ・本部からの事務連絡が発出され次第、社会保険労務士への生活習慣病予防健診受診勧奨業務委託を開始する。
	5	生活習慣病予防健診受診率	49.4 %	25位	21.5 %	-	54.9 %		
	6	事業者健診取得数	15,457 人	-	3,701 人	-	18,000 人	・健診機関への受診勧奨およびデータ作成業務委託をした。 ・千葉県・千葉労働局との事業者健診データ提供依頼連名文書を活用しながら、職員による、電話や訪問による勸奨を実施した。	・本部からの事務連絡が発出され次第、社会保険労務士への事業者健診データ取得勸奨業務委託を開始する。 ・事業者健診データ取得業務委託を実施せず、データ取得業務が遅れているため、下半期は業務委託を行うことで遅れを取り戻す。
	7	事業者健診取得率	5.4 %	21位	1.4 %	-	6.6 %		
	8	特定健康診査受診者数	17,074 人	-	6,901 人	-	18,421 人	・受診券の自宅直送。 ・任意継続加入者、法第3条第2項の加入者(日雇特例)に受診券や健診案内を送付した。 ・集団健診のダイレクトメール送付による受診勧奨。 ・市町が実施する住民健診やがん検診との同時実施に向けて、関係機関と連絡調整を行った。 ・協会けんぽ独自の集団健診(オプション健診等)の検討。	・昨年とほぼ同数の受診者数であるため、下半期では集団健診を軸として未受診者への受診勧奨を行うことが有効と考える。 ・がん検診との同時実施や、協会けんぽ独自の集団健診(オプション健診等)の日程があるため、未受診者へ個別案内を実施していく。
	9	特定健康診査受診率	18.6 %	31位	7.8 %	-	20.9 %		
	10	被保険者特定保健指導実施者数	4,972 人	-	2,151 人	-	4,748 人	・特定保健指導未実施事業所への勸奨(訪問・電話) ・関係各機関に働きかけ、マンパワー確保に努めた。	・6か月評価数は計画通り実施できた。7月以降、システム刷新に伴い、協会けんぽが実施する初回面接者が減少しているため、徐々に面接を行うよう努める。 ・特定保健指導実施機関の拡充に努める。
	11	被保険者特定保健指導実施率	15.0 %	32位	16.0 %	-	13.4 %		
	12	被扶養者特定保健指導実施者数	30 人	-	13 人	-	58 人	・特定保健指導対象者へ利用券の送付 ・集団方式での特定保健指導の開催	・H26年度実績がH25年度実績を下回ってしまったため、来所相談やグループ支援など、新たなやり方を検討、実施していく。
	13	被扶養者特定保健指導実施率	1.7 %	38位	1.8 %	-	3.0 %		

# 千葉支部事業運営における数値指標等

担当	項番	協会けんぽ事業指標	26年度		27年度			これまでの具体的取組み	評価・今後の取組み等
			実績	順位	上期実績	順位	年度末目標		
業務G	14	サービススタンダード達成率	100 %	-	100 %	-	100 %	・処理漏れの無いように、受付後6日目に確認を実施(毎日実施)。	・日々確認を実施することにより、処理漏れを防ぎ、サービススタンダードを達成している。今後についても継続して実施する。
	15	債権収納率	47 %	44位	42.79% (参考) 前年同期 29.52%	-	前年度を上回る率	・文書、電話、訪問による早期催告を実施し、確実な回収を図った。(文書1,819件、電話932件、訪問22件) ・法的手続き(支払督促等)を積極的に推進した。(上期実績12件) ・契約弁護士名で納付催告等を実施し(上期実績341件、納付率43.4%、納付金額2,066,332円)、早期回収に努めた。	・電話や文書勸奨等による早期催告、さらには弁護士名での納付催告を実施し、また、法的手続きを推進することにより、債権回収率を向上させる。
	16	保険証の交付	2営業日以内	-	2営業日以内	-	2営業日以内	・遅くとも申請書の受付日の翌日には、審査確認を行い処理をした。	・今後も確実に受付日の翌日に漏れなく処理を実施する。
	17	保険証の回収率(一般分)	71.80 %	15位	95.65 %	-	85 %	・文書催告を実施。 ・日本年金機構が行う一次催告に、支部作成チラシと返信用封筒を同封し早期回収を図った。	・継続して文書及び電話による催告を実施する。また、日本年金機構が行う一次催告に、支部作成チラシと返信用封筒を同封し早期回収を図る。
	18	保険証の回収率(任意継続分)	82.36 %	9位	93.57 %	-	93 %	・文書及び電話による催告を実施。	
レセプトG	19	診療内容等査定効果額 (被保険者1人当たり効果額)	209 円	28位	118 円 (進捗率49.6%) <small>順位は第1四半期時点</small>	18位	238 円	①自動点検マスタについて、月1回のメンテナンス会議を開催しメンテナンスを定期的を実施した。 ②9月29日に外部委託業者による点検員研修を実施し、点検員のスキルアップを図った。 ③担当リーダーが全国の査定事例を収集し、千葉支部で再審査請求できていない事例があれば、各点検員に展開している。 ④内容点検の一部外部委託を実施し支部内の内容点検を充実させるとともに、業者の査定事例を参考に各点検員が新しい着眼点を習得し、点検員のスキルが向上している。 ⑤5人の新人点検員を育成するため、4月から6月にかけて定期的に新人ミーティングを開催し、それぞれの進捗状況や問題点等を共有した。また、その結果をベテラン点検員にフィードバックして、より効果的な育成を図った。	(①について) 定期的に自動点検マスタのメンテナンスを実施したが、更なる精査を進めるため、9月下旬から3名の点検員から構成される「自動点検班」を組織し、集中的にメンテナンスを実施していく。 (②について) 2回目の点検員研修を1月12日に開催する予定。 (③について) 点検員からは好評であり、引き続き担当リーダーによる全国の査定事例の収集・分析・展開を実施していく。 (④について) 外部委託は上期同様に実施し、業者の査定事例を参考にした点検にも引き続き取り組んでいく。 (⑤について) 6月をもって新人ミーティングは終了したが、新人が教わったことの共有機会がなくなったことを危惧する声があった。よって、8月から新人限定勉強会を開催して、引き続き成功事例等の情報共有を行う。
	20	診療内容等査定金額 (10割分)	95,743,940 円	-	56,447,080 円 (進捗率51.8%)	-	109,000,000 円		
	21	再審査請求件数	51,060 件	-	34,987 件 (進捗率60.2%)	-	58,152 件		